さいたま市民医療センターにて血液疾患でご加療中の方へ

当院では、医療関連感染対策として、医療器具サーベイランスを実施しそのデータをみて、医療関連感染対策の実施を行っています。血液内科疾患では、化学療法時等に中心静脈カテーテルを長期間留置し治療を行いますが、中心静脈カテーテル留置に伴う感染症として、中心静脈カテーテル関連血流感染があります。中心静脈カテーテル関連血流感染が発生すると、治療の遅れや入院期間の延長にもつながることがあるため、当院では、中心静脈カテーテル関連血流感染の発生減少を目指して、医療関連感染対策に取り組んでおります。

【研究課題】

中心静脈カテーテル関連血流感染防止のための取り組み

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター 感染対策室
研究責任者 蒲池 清泉・感染対策室・看護師
担当業務 データの収集・匿名化・データ解析の実施

【研究期間】

2025年3月まで

【対象となる方】

2020年4月1日～2025年3月31日の間に、当院血液内科で、中心静脈カテーテルを留置された患者さん。

【研究の意義】

血液内科では、中心静脈カテーテル関連血流感染の発生頻度が高い傾向にあるため、CDCなどから呈示されている中心静脈カテーテル関連血流感染予防低下の各種対策を組み合わせる事で、血液内科における中心静脈カテーテル関連血流感染の低下につながるのではないかと考えられます。

【研究の目的】

中心静脈カテーテルの管理に焦点をあてて、過去の患者さんのデータを用いて、中心静脈カテーテル関連血流感染低下につながるケアの構築につなげます。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療で看護記録に記録されている中心静脈カテーテル留置部位や、カテーテル刺入部位の皮膚の状態、処置の方法、血液培養結果を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、感染対策室において蒲池清泉が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、を使用し、かつ個人情報が保管されたデータは、専用の USB メモリを用いて、鍵のかかる引き出しで厳重に保管します。そのため、同意を取り消すこと及び個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2023 年 4 月 30 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。
尚、あなたへの謝金はございません。

2023 年 3 月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 感染対策室
住所：埼玉県さいたま市西区島根 2 9 9 - 1
電話：048-626-0011